

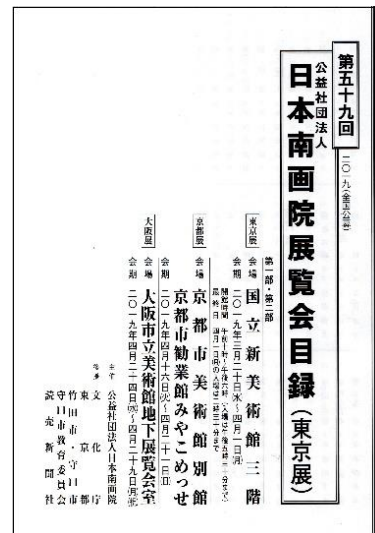
小島堯君 日本南画院展に出展、受賞

色染工芸学科昭和38年卒業同窓の小島堯君が日本南画院展に出展され、**衆議議長賞**を受賞された。作品の題名は「涼風」。お目出度い事である。因みに「衆議院議長賞」と「文部科学大臣賞」に次ぐ上から二番目の賞だそう。

彼も80歳を前に受賞出来て非常に喜んでおりましたが、昨年(平成30年)の受賞は「竹田賞」(上から三番目の賞)であったので、まだまだ着実に、元気に上昇の階段を登っていきけるようだ。この分で行くと来年は・・・賞が期待される。



平成31年3月30日、展示会会場に関東地区在住の諸氏が集まり作品を観賞、受賞作品前での記念写真を撮影した。手に持っているのは南画院展の目録。



参加者名：左より 石野博吉、鎌田興太、早貸正幸、小島堯、酒井紘、渡邊勝彦、中里寿弘、の7名(敬称略)である。

約1時間の絵画鑑賞の後、院展会場の国立新美術館前庭の満開の桜を眺め、いつもの通りメトロ千代田線、丸ノ内線と乗り継ぎ、場所を新宿三井クラブに移し新宿の遠景を見ながら2時間余り受賞のお祝いと懇親会を行った。



その中で、今年2月に彼の故郷の南丹市（園部）で、日本南画院選抜南丹市展が53名の作家の参加で11日間開催されたのですが、その会場に展示した彼の作品「連なる」（昨年の南画院展に出展した作品）を南丹市文化博物館に納めることになり、額装して3/27にその博物館に搬入することになったと小島君から報告された。

彼は、「ちょっとした『故郷に錦を飾る』形になり、これもうれしいと思っております。」と非常に喜んでいましたが、我々一同も「本当に目出度いことだ。」と感激しきり・・・。

余談ながら彼は、これ以外に過去の海外展で、
2002年；「ル・フランス賞」ル・サロン(Le Salon、フランス、パリ)での入賞、
2003年：第7回中日桂林書画連合展 桂林市長賞 受賞、
2004年：カンヌ国際芸術祭 コートダジュール国際芸術賞受賞等々
世界的な水墨画家として大いなる活躍をしている。

その他、諸兄の話題は相変わらず大部分が健康状態と今一生懸命戦っている病気の事であったのは前回同様であり、体調不良の三河君が今回も参加出来なかった事を含めて、我々全員加齢により仕方のない事であろう。

尚、関西地区在住の方は引き続き行なわれる京都会場・大阪会場で祝杯・懇親会を催されることと伺っている。またタイに駐在の伊東君は5月中旬に一時帰国するので、別途歓送会を開催する予定である。

（早貸・渡邊 記）